



# タイの Thailand 笑 微笑 み × Nikon D300

田中希美男

Kimio Tanaka

Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED  
12-24mm F4G(IF)  
絞り優先AE・F8・1/6秒・-0.7EV・  
オート(WB)・オート(ISO800)

たぶん漢方薬のお店だろう。笑顔の素敵なおばさんと、店内にあったマッチョな人形に惹かれてここに入り込んでしまった。後ろの引き出しの中を見せてもらったら、漢方薬らしい乾燥した草のようなものが入っていた。



Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED 12-24mm F4G (IF)  
絞り優先AE・F8・1/15秒・-0.3EV・オート(WB)・オート(ISO800)



雑貨屋さん兼簡易書店か。店番の人がいるとは知らずに図々しく店先を撮影。ふと店内を見渡すと、店の奥にお茶を飲みながらぼくに向かってにっこり笑っている少女がいて驚く。「おはよう」と声をかけたのは早朝のアユタヤ市内。

Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED 12-24mm F4G (IF)  
絞り優先AE・F8・1/15秒・-0.3EV・オート(WB)・オート(ISO800)



仏教を敬い、プミボン国王を愛してやまないタイの人々を見るたびに、その優しさに感動する。おみやげ屋さんの店内のほとんどを国王とそのお後の写真や絵画で飾られている。もちろん売り物。ちょうど12月は国王の誕生日。



Nikon D300  
AF-S DX VR Zoom Nikkor ED 18-200mm F3.5-5.6G (IF)  
絞り優先AE・F6.3・1/15秒・-0.3EV・オート(WB)・オート(ISO640)

天気の良い午後。気持ちよさそうにお昼寝中だったのに、店のご主人をぼくが起こしてしまった。古い写真館のようだ。店の奥に現役(たぶん)の大きなアンソニーカメラが置いてあった。ナコン・サワンに向かう小さな村の中で。



Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED 12-24mm F4G (IF)  
絞り優先AE・F7.1・1/10秒・-0.7EV・オート(WB)・オート(ISO800)

なんのお店だろうか。お店の中を見渡すと、プミボン国王の写真や家族の写真やポスターやらが壁一面に飾り付けられている。おばさんをお願いをして店内で数カット撮影させてもらう。「どこから来たの?」「日本から」「あら、そう」というような意味の会話ををする。





Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED  
12-24mm F4G(IF)  
絞り優先AE・F8・1/15秒・-0.3EV・  
オート(WB)・オート(ISO800)

小さな街の写真屋さん。カメラも売っているようなのだが、日本でも見かけないような古くて珍しいクラシックカメラがショーウィンドウの中に飾ってある。店の奥がスタジオになっている。優しいおばあさんがしきりに話しかけてくれるのだけど、残念ながらほくにはさっぱり意味がわからない…。



Nikon D300  
AF-S DX VR Zoom Nikkor ED 18-200mm F3.5-5.6G (IF)  
絞り優先AE・F8・1/13秒・-0.7EV・オート(WB)・オート(ISO800)

狭い間口の小さな時計屋さんなのだがその時計の数、とくに腕時計の数に圧倒される。ほくは時計にはまったく知識も興味もないのだが、おじさんはしきりと腕時計をすすめてくれる。□□□★□□□□■□□□□★□□□□■



Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED 12-24mm F4G (IF)  
絞り優先AE・F8・1/15秒・-0.7EV・オート(WB)・オート(ISO320)

とある小さな観光地(といってもバンコクのそれとは大違い)のお店、なのだが、魔法瓶やお寺のお供え物やら、ドラえもんの入れ物になにやら液体を入れて売っている。それはナニ? と尋ねようにも言葉が不如意でもどかしい。



Nikon D300  
AF-S DX Zoom Nikkor ED 12-24mm F4G (IF)  
絞り優先AE・F8・1/6秒・-0.3EV・オート(WB)・オート(ISO800)

小さな街の「商店街」で。商店街、とは言い過ぎだが、とにかくモノを売っている店が数軒並んだ中。このおじさんの笑顔につられてふらふらと店内に入って来たわけだが、さて、なにを売っているお店だったろうか…。

12月、タイランドへの久しぶりの旅は喧噪のバンコクから離れて北に向かって車で走ることにした。この旅に持っていったカメラはニコンのD300を1台と数本のズームレンズのみ。D300の撮影モードの設定はあらかじめ決めておいた。絞り優先AE、オートホワイトバランス、そして上限をISO800にしたオートISO感度。AFはD300の特徴的な最新機能でもある3D-トラッキングのモードを選び、徹底的にそれを使いこなすことにした。この設定は途中でそれを変更しない。とにかくD300に任せる。D300を信頼して撮影をしてみることにした。この3D-トラッキングAF撮影機能については、当初は少し戸惑いもあった。ところが使い込んでいくうちに、どっぷりとその機能の素晴らしさに浸ってしまった。AFロックを多用しながら素早く撮影をするスナップ撮影にはなくちゃん然とした撮影機能ではないかと思うまでになった。

## Thai land

さて、車で走る今回のタイランドの旅

は、とりたてての目的もなし。しいて目的といえば—— ややこじつけ気味だけ—— タイの人たちの笑顔を見たかったこと、タイの田舎町に住む人たちの生活の“カケラ”のようなものが見られればいいかなあ、といったもの。というわけで、タイ中部のあたり走り回ることになった。中部地方の有名な街としてはバンコクの北に古都アユタヤがあって観光客も多い。でも、それよりも北になると、めばしい観光地もなく、当然ながらそのあたりまで行くような物好きな観光客も少ない。曖昧に設定したルートは、ロップリー(アユタヤの北、約60km)、そしてナコーン・サワン(さらに150km)の街まで行って、そこから南下。スパンブリ(アユタヤの東北60km)を経由してバンコクに戻る。実にいきあたりばったり。地図を眺めながら、気分でルートを変更する。途中、小さな街や村があればクルマから降りて歩く。ここで見ていただいた写真はその途中で出会った人たちや街角の、ほんの一部だ。